



平成24年12月21日

DRF地域ワークショップ(東北地区)「DRF-Fukushima」

事例発表(2)：名古屋工業大学 リポジトリ原則登録のルールづくり

名古屋工業大学

学術情報課 林 和宏

library.repo@adm.nitech.ac.jp



発表内容

1. リポヰトリ概要
2. 背景と経緯
3. 制度設計
4. 学内合意形成
5. これから

1. 本学リポジトリ概要



名古屋工業大学学術機関リポジトリ

- 運用開始 平成20年3月3日
- <http://repo.lib.nitech.ac.jp/>
- システム NALIS-R (Dspace)

名古屋工業大学

- 工科系単科大学
- 学生数
 - 学部 : 4,236名
 - 大学院 : 1,541名
- 教員数 : 339名

登録件数

- 博士論文 393件
- 雑誌掲載論文 2,264件
- 紀要 826件
- 会議資料 40件

(H24.10.31現在)

名古屋工業大学学術機関リポジトリ

ホーム Help English 検索履歴 名古屋工業大学 閉じる

検索

※学術情報等の利用に当たっては、私的使用目的での複製や引用等の、著作権法で定める権利制限規定を超える利用については、著作権者に許諾を得てください。

一覧表示

所属一覧

全一覧

加賀工学専攻 [346]
機軸工学専攻 [648]
情報工学専攻 [493]
社会工学専攻 [507]
産業制御工学専攻 [79]
主幹制御工学専攻 [196]
創成システム工学専攻 [266]
旧・都市環境システム工学専攻 [31]

検索対象: リポジトリ全体

タイトル :

AND 著者 :

AND キーワード :

AND 出版者 :

AND 発行年 : ~

AND 概要 :

AND 全文 :

検索履歴

一覧表示

著者所属: [196] 創成システム工学専攻 [266] 旧・都市環境システム工学専攻 [31] 旧・電機情報システム工学専攻 [640] 旧・社会理工学専攻 [311] 旧・生産システム工学専攻 [40] ヒールズ棟 [0] 名古屋工業大学図書 [592] エッセイ・基礎工学研究センター年報 [129] 産学連携システム研究センター報告書 [67] 技術論研究 [36] New Directions [93] 旧・スリテック/センター センターニュース [10]

収録種別: 発表論文 学術記事 博士論文 調査報告 会議資料 その他

検索

検索対象: リポジトリ全体

タイトル :

AND 著者 :

AND キーワード :

AND 出版者 :

AND 発行年 : ~

AND 概要 :

AND 全文 :

<お知らせ>
名古屋工業大学で博士学位を取得した方へ
名古屋工業大学学術機関リポジトリのコンテンツの一つとして、博士論文を収録しています。
自身の博士論文について、名古屋工業大学学術機関リポジトリへの登録に同意していただける方は、附属図書館学術情報課学術情報係までご連絡ください。詳細につきましては、博士論文の登録問題について、ご協力をお願いいたします。

学術機関リポジトリは
登録について
開庫資料 / リンク
<閉合せ先>
名古屋工業大学附属図書館
学術情報課学術情報係
TEL: 052-735-5099
(内線: 5099)
FAX: 052-735-5102
e-mail: library_repo_at_admin.nitech.ac.jp
(atは@に置き換えてください)



他大学の状況

- 世界の状況
<http://roarmap.eprints.org/>
- リエージュモデル
<http://www.berlin9.org/bm~doc/berlin9-rentier.pdf>
- 国内の状況(岡山大学)
<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/html/mandate/>
- システム構築(北陸先端科学技術大学院大学)
<https://dspace.jaist.ac.jp/dspace/bitstream/10119/9019/1/20100622JAISTposter.pdf>



本学の状況（原則公開前）

- 初めは、博士論文を中心に公開。博士論文は、学務課の協力により、論文提出時に、著者許諾とっている。図書館は、本人から本文テキストデータを得て、出版社著作権確認し、登録。現在、ほとんどの著者がリポジトリへ登録。
- 学内紀要の遡及登録をほぼ完了。今後、発行される学内紀要についても、継続登録許可を得るか、著者への確認を事前に行ってもらう体制を構築。
- 雑誌掲載論文も、研究者データベースを利用して、リポジトリ登録の許諾回答を得ることを開始したが....



課題の分析

<課題>

- 多くの教員は、リポジトリ登録に反対ではないが、自らが積極的に登録申請することはほとんどない。
- 許諾は得られても、リポジトリ登録が著者版のみに限られる場合(本学では全体の30%以上)、本文テキストデータを得ることが難しい。

調査

<教員へのインタビュー>

- 著作権は大丈夫？
- ただでさえ忙しいのに、仕事が増えるのでは？



制度設計

<Point>

- 教員の負担を最小限にする。
- 教員の著作権に関する不安を解消する。

<大原則:リポジトリ運用指針の改正>

本学に所属する教員が、在籍期間中に公表した学術情報等は、著作権等の理由によりリポジトリに登録できないものを除き、原則リポジトリに登録するものとする。

- 教員は、既に教員評価のために、研究者データベースへの論文情報登録が必須。多数がリポジトリ登録に反対でないならば、デフォルトをリポジトリ登録にすることは、大学全体で見れば、教員の回答負担を増やすものではない。
⇒ 図書館は周知を行い、責任をもって著作権処理を行うこと約束。
- 教員へのお願いは、“著者版が必要な場合は、論文の本文テキストを図書館へご送付ください！”のみ。⇒ これだけですまないケースは、個別にフォロー。



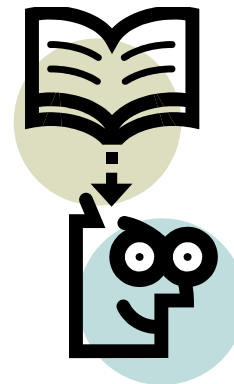
業務フロー

<教員>

研究者データベースへ発表論文の登録

* 登録された論文は、原則公開。
非公開を希望する場合は、附属図書館へ申請する。

公開にあたって、著者版の本文テキストが必要な論文については、本文テキストを送付



本文テキストの送付

<附属図書館>

データ利用

本文テキストの提供依頼

リポジトリ登録する論文の出版社著作権を確認

* リポジトリ登録の可否・および登録条件を確認する

本文テキストが図書館で入手可能な論文は、登録へ

リポジトリ登録・公開を行い、研究者データベースからリポジトリへのリンク作成



協働による新システムと追加機能

・ リポジトリ本文収集システム

リポジトリ本文収集システム

| |
|---------|
| 所属 |
| 基盤ID |
| 氏名 |
| 論文題目 |
| 掲載誌名称 |
| 掲載誌巻 |
| 掲載誌号 |
| 掲載誌開始頁 |
| 掲載誌終了頁 |
| 掲載誌発行年月 |
| 著者氏名 |
| 出版 |

情報基盤センターの協力
による学内開発

*ファイルの選択から、上記論文の本文データを選択して、アップロードしてください
(複数ファイルがある場合は.zipなどに圧縮してください)

参照...

アップロードする

・依頼をシンプルに伝える。
・論文の送付や管理を簡便化する。

・ ダウンロード回数メールお知らせ機能

・ 研究者データベースからのリンク

メリットを目に見える形で示し、学内へ制度を浸透させる。



学内検討のながれ

24. 6. 6 附属図書館委員会(審議)

24. 9.12 研究企画院

24. 9.18 運営会議

24. 9.26 教育研究評議会(報告)



これから

制度は構築したけれど..

- ・広報活動も必要
- ・成果は、運用次第

⇒ **具体的な成果が出て、それが次の登録につながる循環が理想**
例えば、企業との共同研究、他大学からの大学院入学

名古屋工業大学学術機関リポジトリは、
本学の教育研究成果について、国際発信・流通を
一層推進し、社会へ還元することを目指します。

ご清聴ありがとうございました。